

3 受験上の配慮事項

大学入学共通テストにおいては、病気・負傷や障害等のために、受験に際して配慮を希望する志願者に対し、個々の症状や状態等に応じた受験上の配慮を行います。

希望する配慮事項については、「**3-1 主な配慮事項**」～「**3-5 基礎疾患等があることにより感染症が重症化するリスクが高い場合**」を確認してください。これらの配慮事項は、障害等の種類や程度にかかわらず、必要に応じて、申請することができます。

なお、「**4 受験上の配慮内容**」(→12 ページ)には、病気・負傷や障害等の種類と程度ごとに代表的な配慮事項の例などを示していますので、こちらも確認してください。

また、受験上の配慮を希望する場合は、「**2 申請方法等**」(→4 ページ)、「**8 申請書類**」(→35 ページ)を確認の上、申請に必要な書類を準備してください。

3-1 主な配慮事項

大学入学共通テストにおける主な配慮事項は、下表のとおりです。これらの配慮事項を希望する場合、「**[A] 受験上の配慮申請書第2面**」(→50 ページ)を確認してください。

配慮の種別	主な配慮事項	主な参考ページ
解答方法や試験時間に関する配慮	点字解答 (試験時間を 1.5 倍に延長)	12
	文字解答 (試験時間を 1.3 倍に延長 又は 延長なし)	12・22
	チェック解答 (試験時間を 1.3 倍に延長 又は 延長なし)	16・18・24
	代筆解答 (試験時間を 1.3 倍 (科目によっては 1.5 倍) に延長 又は 延長なし)	16
	上記のほか、マークシート解答においても試験時間を 1.3 倍に延長する場合があります。	16・18
試験室や座席に関する配慮	1 階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験	16・18
	洋式トイレ又は障害者用トイレ (バリアフリートイレ) に近い試験室で受験	16・18
	窓側の明るい座席を指定、座席を前列に指定、座席を試験室の出入口に近いところに指定	12～19
	別室の設定	12～19
持参して使用するものに関する配慮	拡大鏡等の持参使用 (拡大読書器を含む。)	12
	照明器具の持参使用	12
	補聴器又は人工内耳の装用 (コードを含む。)	14・15
	特製机・椅子の持参使用	16
	車椅子の持参使用	16
	杖の持参使用	16・18
その他の配慮	拡大文字問題冊子 (14 ポイント・22 ポイント) の配付	12・18・26
	照明器具の試験場側での準備	12
	手話通訳士等の配置	14
	注意事項等の文書による伝達	14・18
	リスニングの免除	15
	リスニングにおける音声聴取の方法の変更	12～21
	試験場への乗用車での入構	12・16・18
	試験室入口までの付添者の同伴	12・16・18
	介助者の配置	16
	特製机・椅子の試験場側での準備	16

3-2 その他の配慮事項

上表に記載がない配慮事項の例として、その他の配慮事項を掲載しています。「**その他の配慮事項一覧**」にある配慮事項を希望する場合、「**[A] 受験上の配慮申請書第3面**」(→51 ページ)に記入してください。

その他の配慮事項一覧

「試験室の設備」や「座席位置」に関する配慮事項				
配慮事項	コード			
座席の位置を指定 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「[A]受験上の配慮申請書第4面」の座席記入欄に、下記の表現を参考にして希望する座席位置を記入するとともに、図示してください。 なお、記入例については42ページを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座席を最前列に指定 ・座席を最後列に指定 ・座席を試験室後方に指定 ・座席を試験室正面に向かって左側に指定 ・座席を試験室正面に向かって右側に指定 ・座席を試験室の中央に指定 ・座席を試験室の壁際に指定 ・座席を試験室の隅に指定 ・座席を試験室の端に指定 ・座席を窓から離れたところに指定 ・座席を通路側に指定 ・座席を廊下側に指定 ・座席を試験室の出入口から離れたところに指定 ・座席を前から2～3列目に指定 </div>	0	0	0	1
カーテンを閉めて受験	3	0	0	1
室温調節が可能な試験室で受験	3	0	4	8
照明の調節が可能な試験室で受験	3	0	5	2
発作時に休養室又は医務室を利用	3	0	7	0
座席を空調から離れたところに指定	4	0	2	8
座席を直射日光の当たらないところに指定	4	0	3	3
座席を照明の真下以外に指定	4	0	3	4
座席を周囲の受験生と間隔を空けて指定(約0m)	4	0	4	0
座席を監督者の近くに指定	4	0	5	8
車椅子で移動可能な試験室・座席を指定	4	0	4	4
座席近くに車椅子を置く場所を確保	3	0	4	3

「試験時間中の動作」に関する配慮事項				
配慮事項	コード			
試験時間中の薬の塗布(薬の机上常備)	8	0	1	4
試験時間中の水分補給(水分の机上常備)	8	0	2	2
試験時間中の補食(補食物の机上常備)	8	0	2	8
試験時間中の薬の服用(薬・水の机上常備)	8	0	6	0
試験時間中の自己マッサージ	8	0	2	0
試験時間中の姿勢変更	8	0	2	1
試験時間中のストレッチ	8	0	2	3
床に座っての受験	8	0	3	2
立位での受験	8	0	3	3
臥位(横になった状態)での受験	8	0	4	5
試験時間中に座位と起立位を繰り返すこと	8	0	1	9
試験時間中に座位と臥位を繰り返すこと	8	0	5	4
壁にもたれた状態での受験	8	0	6	2
試験時間中のインスリンポンプの操作	8	0	0	1
車椅子に座っての受験	8	0	4	1
試験時間中の補聴器の付け外し	8	0	4	9

「持参使用するもの」に関する配慮事項			
配慮事項	コード		
電源の使用(電源コードのある機器を持参使用するため)	3	0	6 6
書見台の持参使用	6	0	4 6
置時計の持参使用	6	1	1 5
拡大読書器の持参使用	6	1	1 8
読書補助具の持参使用	6	1	9 1
定規の持参使用	読書補助具としてのみ使用可能です。		
書字補助具の持参使用	6	0	4 8
ホワイトボードの持参使用	6	0	6 2
遮光眼鏡の持参使用	目の動きがわかる程度の色の濃さは申請不要です。		
色シートの持参使用	6	1	1 2
下敷き(透明)の持参使用	6	0	4 3
付箋・シール等の持参使用	6	0	5 6
音声時計の持参使用	点字解答希望者は申請不要です。		
触読用時計の持参使用	6	1	9 8
耳栓の持参使用	6	1	5 8
デジタル耳栓の持参使用(通信機能を有するものは使用できません)	6	2	7 4
イヤーマフの持参使用	6	1	1 1
補聴器・人工内耳の予備電池の持参使用	6	1	5 5
補装具の装用	6	0	3 0
マットの持参使用	6	1	5 7
足置き台の持参使用	6	0	9 1
クリップの持参使用	6	0	3 7
クリップボードの持参使用	6	0	3 8
滑り止めシートの持参使用	6	0	5 0
帽子的着用	本人確認等の際、脱帽できない場合申請が必要です。		
帽子を着用した状態の写真を受験票・写真票に使用	6	2	0 9
インスリン注射器・インスリンペンの持参使用	6	0	6 7
血糖測定器の持参使用	音の鳴る機器の使用を希望する場合、音の頻度、音量、音が鳴った場合の処置等を[A]受験上の配慮申請書第4面に記入してください。		
インスリンポンプの装用	6	1	7 3
エピペン [®] の持参使用	6	1	8 7
吸引器の持参使用	6	0	6 8
吸入器の持参使用	6	0	6 9
酸素ボンベの持参使用	6	0	8 3
人工呼吸器の持参使用	6	0	8 8
点滴の持参使用	6	1	9 9
輸液ポンプの持参使用	6	2	2 7
試験室への暖房器具の持参使用	電源の使用が必要な場合は、「電源の使用(コード:3066)」も併せて申請してください。		
延長コードの持参使用	6	1	8 8
扇風機の持参使用	6	2	4 9
エチケット袋の持参使用	6	1	1 4
ゴミ袋の持参使用	6	1	7 8

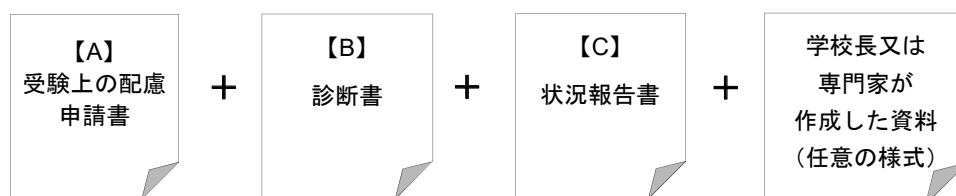
「試験時間中に監督者等へ求める対応等」に関する配慮事項				
配慮事項	コード			
ヘッドホン着脱の補助	5	0	0	9
リスニングにおいて機器の操作等の補助	5	0	1	0
監督者等と近すぎない距離を保つ	9	0	0	3
消しゴムで消す際の補助	9	0	0	9
試験室内の誘導	9	0	1	2
試験場内の誘導	9	0	1	4
眠った場合に監督者等が起こすこと	9	0	2	1
問題冊子をめくる補助	9	0	2	4
筆談による対応	9	0	5	5
監督者等が背後に立たない	9	0	6	9
試験時間中に監督者が受験者の求めに応じて残り時間を知らせること	9	1	0	9

提出書類に注意が必要な配慮事項				
配慮事項	コード			
試験時間を1.5倍に延長（注1）	科目単位で試験時間の延長を希望する場合は、事前に相談してください。			
個室の設定（試験室に受験者1名）（注2）	1	0	1	3
	1	0	0	1

（注1）「試験時間を1.5倍に延長」について

「【A】受験上の配慮申請書」、「【B】診断書」、「【C】状況報告書」に加えて、1.5倍の試験時間延長の必要性が分かる「具体的な理由」や「これまでの取組み」等を示した資料（任意の様式で学校長又は専門家が作成したもの）を提出してください。

（具体的な理由やこれまでの取組みが示してあれば、個別の教育支援計画・個別の指導計画の写しでも可能です。）



なお、申請書の記入例については【1.5倍の試験時間延長を申請する場合】（→44ページ）を参照してください。

（注2）「個室の設定（試験室に受験者1名）」について

「【A】受験上の配慮申請書」、「【B】診断書」に加えて、個室の設定を必要とする明確な理由を「【C4】状況報告書（別室の設定）」又は「【C5】状況報告書（発達障害関係）」に詳しく記入してください。大学入試センターが必要と判断した場合には個室とします。

なお、申請書の記入例については「個室の設定（試験室に受験者1名）を申請する場合」（→44ページ）を参照してください。

【備考】

申請する配慮事項に第二希望がある場合は、「申請する配慮事項の第二希望について」（→43ページ）を参照してください。

「3-1 主な配慮事項」「3-2 その他の配慮事項」に記載されていない配慮事項を希望する場合は、
「3-3 事前相談が必要な配慮事項」（→10ページ）を確認してください。

3-3 事前相談が必要な配慮事項

次のような配慮事項を希望する場合は、事前相談が必要になります。
大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に連絡してください。

- (1) 科目単位の試験時間の延長に関する配慮事項
例：リスニングのみ試験時間延長（1.3倍）を希望したい
- (2) 問題冊子・解答用紙及び下書き用紙に関する配慮事項
例：指定した用紙に印刷してほしい・タブレット端末を下書きに使用したい
パソコン（タブレット端末を含む。）で問題を見たい
- (3) 休憩時間に関する配慮事項
例：昼食の介助を保護者が行いたい・休憩時間中に横になって休みたい
- (4) 「文字解答」「チェック解答」の鉛筆以外での解答に関する配慮事項
例：ボールペンで解答したい・フェルトペンで解答したい
- (5) 試験場の指定に関する配慮事項
- (6) 人による問題文等の読み上げに関する配慮事項
- (7) 「3-1 主な配慮事項」、 「3-2 その他の配慮事項」に記載されていない配慮事項

3-4 受験上の配慮を申請せずに使用できるもの

次のものは受験上の配慮を申請せずに使用できます。
また、試験時間中に机の上におけるもの（受験案内47ページ参照）を併せて確認してください。

- (1) サポーター・テーピング・包帯・湿布・ギプス・眼帯・コルセット
※ 試験時間中に着脱する場合は、監督者に申し出て許可を得てください。
- (2) 白杖
※ 白杖以外の杖の持参使用を希望する場合は申請が必要です。

以下の(3)については、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

- (3) 座布団・クッション・タオル・ひざ掛け・手袋（多汗症用を含む。）
※ 病気・負傷や障害等のために試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は、
受験上の配慮の申請をすることもできます。
※ 英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。

3-5 基礎疾患等があることにより感染症が重症化するリスクが高い場合

感染症に罹患すると重症化の可能性がある場合や、免疫力が低下している等の感染リスクが高い場合については、大学入学共通テストにおける受験上の配慮として、「少人数の別室の設定」(→6 ページ)や「個室の設定(試験室に受験者1名)」(→9 ページ)を申請することができます。